

# 平成30年度版 『会津若松市の環境』 ～平成29年度実績報告～ 概要版



環境フェスタ



自然環境教室（生き物観察会 in 北会津）



市民環境教室（東山ダム）

会津若松市

～はじめに～

平成30年度版「会津若松市の環境～平成29年度実績報告～」の概要版は、環境基本計画に基づく本市の主な事業の取組内容と、様々な環境調査の結果をコンパクトにまとめたものです。

市民の皆さんには、本市の環境の現状と、環境改善に向けた本市の取組について理解を深めていただくとともに、この自然豊かな魅力ある会津若松市の環境を、将来に引き継いでいくための具体的な行動のきっかけとなることを願います。



環境PR大使  
いいもりん

## I 環境基本計画に基づく事業の平成29年度取組実績

### 1. きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる

#### (1) 空気や水がきれいで安心して暮らせるまち

事業名	実施課	取組内容
農業用使用済プラスチック適正処理事業	農政課	年2回、ビニールハウスやマルチ等の農業用使用済みプラスチックの回収及びリサイクル処理を実施した。

#### (2) 環境と生活スタイルが調和した快適なまち

事業名	実施課	取組内容
公共下水道事業 農業集落排水事業 個別生活排水事業 浄化槽設置整備事業	下水道課	○公共下水道事業、個別生活排水事業等による処理区域の拡大を図った。 ○公共下水道事業 26工区 L=4,890m ○個別生活排水事業 47基 ○浄化槽設置整備事業 19基

#### (3) 放射能の不安のない安心なまち

事業名	実施課	取組内容
環境放射線調査事業	環境生活課	年1回の集落ごとの詳細調査（市全域235ヵ所）を実施した。

### 2. 緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる

#### (1) 豊かな自然環境を守り、育てるまち

事業名	実施課	取組内容
赤井谷地保存調査事業	文化課	水環境調査・植生調査・指導会議を実施した。
花と緑の推進事業	花と緑の課	花苗生産基地において、85,112本の花苗を生産し、106箇所の庁舎・学校等の公共施設において、プランターの設置や花苗の配布を行い、緑化美化を図った。
野生生物生息環境保全事業	環境生活課	○身近な生き物基本調査会議を開催した。（3月23日） ○野生生物生息環境調査を実施した。 ○ホームページに生き物のコラムを掲載し、市民が野生生物について知る機会を創出した。 ○自然環境教室を開催した。（3回、64名参加）

#### (2) 美しい里山と農地を守り、活かすまち

事業名	実施課	取組内容
グリーンツーリズム支援事業	農政課	○都市住民を対象とした農業農村体験の受入態勢を整備し、各種受入を行った。 ○農業体験受入実績 5,079名 ・グリーンツーリズム・クラブ 477名 ・ワーキングホリデー 72名 ・地域イベント型事業 96名 ・農家民宿 70名 ・農家レストラン 3,418名 ・教育体験 946名

(3) 猪苗代湖の水環境を守り、次代に引き継いでいくまち

事業名	実施課	取組内容
猪苗代湖環境保全推進事業	環境生活課	○8月6日に猪苗代湖岸クリーンアップ及び観光客へのPRを実施した。 ○県や猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催の湖岸清掃やヨシ刈り、ヒシ刈り等のボランティアについて参加の呼びかけをし、作業に参加した。

3. 地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる

(1) 再生可能エネルギーの地産地消ができるまち

事業名	実施課	取組内容
住宅用太陽光発電システム設置補助金交付事業	環境生活課	住宅用太陽光発電システムを設置する場合に、費用の一部補助を実施した。(補助件数 62件、補助総額 2,407,000円)
再生可能エネルギー推進事業	環境生活課	○背あぶり山レストハウス内の風力発電施設説明を主とした企画展示を行った(冬季閉鎖時期を除く)。 ○小学生等を対象に、市内外の再生可能エネルギーの施設見学バスツアーを開催した(合計参加者46名)。

(2) みんなでCO2を減らすまち

事業名	実施課	取組内容
庁舎の省エネルギー対策	総務課	本庁舎については、平成28年6月より冷房専用機器から冷暖房兼用機器へ更新し、冷暖房ともに運転管理を行い室温管理に注視したところ目標以上の削減効果となった。 また、栄町第二庁舎については、ガスヒートポンプ空調設備の室外機10台中、平成28年度に4台、29年度に2台を更新したことにより、本庁舎と同様に目標以上の削減効果となった。
地球温暖化対策推進実行計画の推進(庁舎の省エネルギー対策)	環境生活課	平成29年度の温室効果ガス排出量は、基準年度比で0.1%の増となり、目標達成には至らなかった。部門別に見ると事務部門14.8%減、事業部門3.1%減、市民利用部門では5.0%の増となった。
学校版・家庭版環境マネジメントシステムの普及	環境生活課	○環境フェスタにおいて、各学校の取組状況等について紹介した壁新聞を掲示した。(28校参加) ○更新対象校(5校)の更新審査を実施し、生徒の環境への意識の高揚を図った。
地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進	環境生活課	○各EMS、エコドライブ推進及びこどもエコクラブ等の各種事業を実施し、地球温暖化防止に向けた市民への意識啓発を行った。 ○環境月間である6月の市政だよりにて、各EMSやエコドライブ事業など、環境にやさしい取組について記事を掲載した。

(3) 再生可能エネルギーとICTを活用したまち

事業名	実施課	取組内容
北会津支所エネルギー管理事業	北会津支所まちづくり推進課	○BEMSによる空調設備の一時停止など、ピーク時の電力使用抑制のシステムがあるものの、急速充電器の使用が増加し、目標達成に至らなかった。 ○デマンドデータの分析により、冬季の電力使用量の増加が、寒冷時の凍結防止システムの稼働にあることが分かった。
電気自動車推進事業	環境生活課	会津大学・日産自動車とともに超小型モビリティの実証走行に取り組むとともに、日産自動車から無償貸与された電気自動車をイベント等で展示・活用することで、電気自動車の普及を図った。

(4) 「もったいない」が息づくまち

事業名	実施課	取組内容
一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画)の推進	廃棄物対策課	<b>【実績値】</b> ○1人1日あたりごみ排出量 1,259g(289g未達成) ○総リサイクル量 12,136t(864t未達成) ※基本計画の改訂により、平成28年度から目標値及び統計手法を変更した。(集団回収量、事業系資源物の追加等)

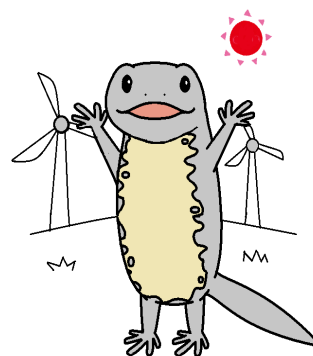
#### 4. 環境保全をともに学び協働するまちをつくる

##### (1) みんなで考え、みんなで学ぶまち

事業名	実施課	取組内容
森林環境整備（交付金）事業	農林課	○市立小中学校 30 校による森林環境学習を実施した。 ○県産材の利活用を行った。 4 団体（うち市 1 施設） ○ペレットストーブ 3 基、薪ストーブ 1 基を導入した。
森林環境学習事業	学校教育課	小中学校全 30 校において、予定していた事業を全て無事に完了できた。各校様々な時間・場所・手法を用いて森林環境について理解を深めることができた。また県に対し、会津若松市立幼稚園・小中学校教育研究会より全 30 校分の実施報告書を提出した。
各種環境教室や環境講座の実施	環境生活課	○自然環境教室（参加者 64 名）（再掲） ○こども環境教室（参加者 28 名） ○市民環境教室（参加者 46 名）等を実施した。
ホタル祭り	北会津支所 まちづくり 推進課	○6月24日、25日の2日間開催。 ○祭りは、地域のイベントとして支持されており、2日間で10団体、延べ254名が出演した。天候に恵まれたこともあり、来場者が多く、例年になく盛大であったとの声が多かった。 ○アンケートでも「ホタル」鑑賞を楽しみに来場する人が多く、環境保護意識の高揚に大きく貢献している。 ○ゴミの回収場所を一か所にまとめた「ゴミ分別コーナー」は、ポイ捨て防止等の環境美化に効果があった。

##### (2) 協働の輪を広げ、環境にやさしいまち

事業名	実施課	取組内容
ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議	環境生活課	○「ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議」として一斉清掃・啓発活動（つるピカ大作戦）を実施した。（鶴ヶ城ハーフマラソン大会前日の9月30日に会津若松市総合運動公園南側駐車場及び周辺道路で開催。参加者 127 名） ○4月の予防注射会場や12月のペットショップ店前において、犬ふん回収袋付のチラシ配布等による啓発活動を実施した。 ○啓発看板を配布した。（ポイ捨て禁止 18 枚・犬ふん放置禁止 20 枚） ○市政だより等に啓発記事を掲載した。
不法投棄監視員及び生活環境保全推進員によるパトロールの実施	廃棄物対策課	○不法投棄監視員パトロール件数 449 件 ○生活環境保全推進員パトロール件数 1,621 回 ○ポイ捨て個数 17,030 個 ○犬ふん件数 262 件
犬ふん放置防止の周知活動	健康増進課	○犬の登録時に「愛犬の手引き」を渡し周知を図った（261 冊）。 ○会津保健所主催の「飼い犬のしつけ方教室」の案内を行った。 ○予防注射実施通知に放置防止のチラシを同封し啓発を行った。 ○犬ふん放置者が特定した場合には、保健所と連携して飼い主に対して指導を行った。 ○犬ふん放置禁止の看板を設置希望の市民に配布した。



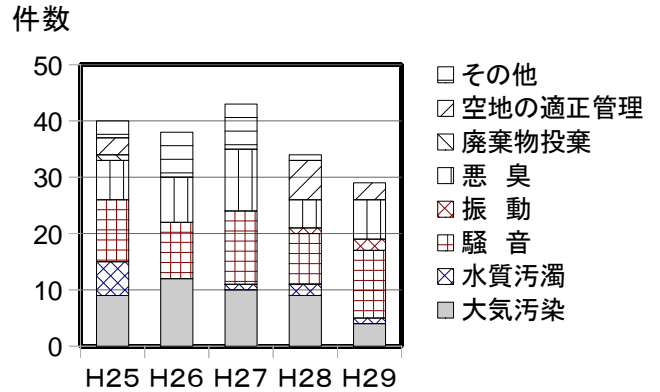
## II 公害・環境の現況

### 1. 環境に関する苦情の概要

平成29年度の苦情件数は29件で、前年度の34件と比べて減少しています。

苦情の内訳では、「騒音」が最も多く、次いで「悪臭」「大気汚染」「空地の適正管理」の順となっています。公害苦情の傾向としては、件数自体は近年減少傾向にあり、広い地域に影響を及ぼすような大規模な公害は少なくなっていますが、近隣に影響がある小規模な苦情が増加しています。

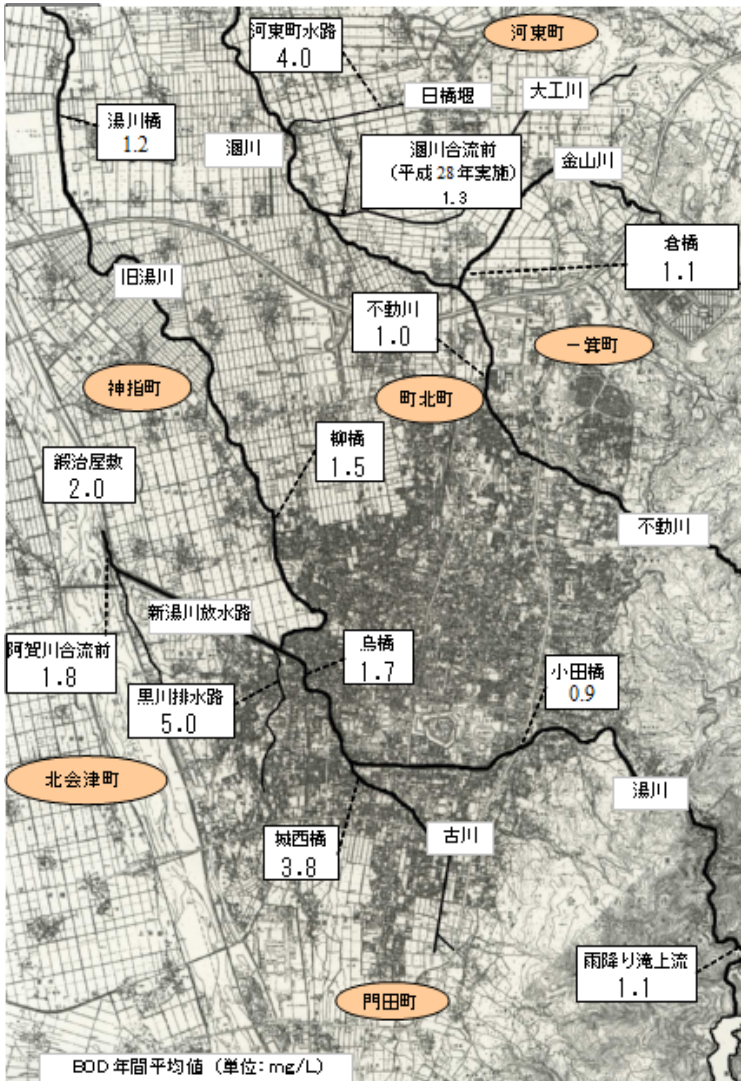
過去5年間の種類別苦情件数の推移



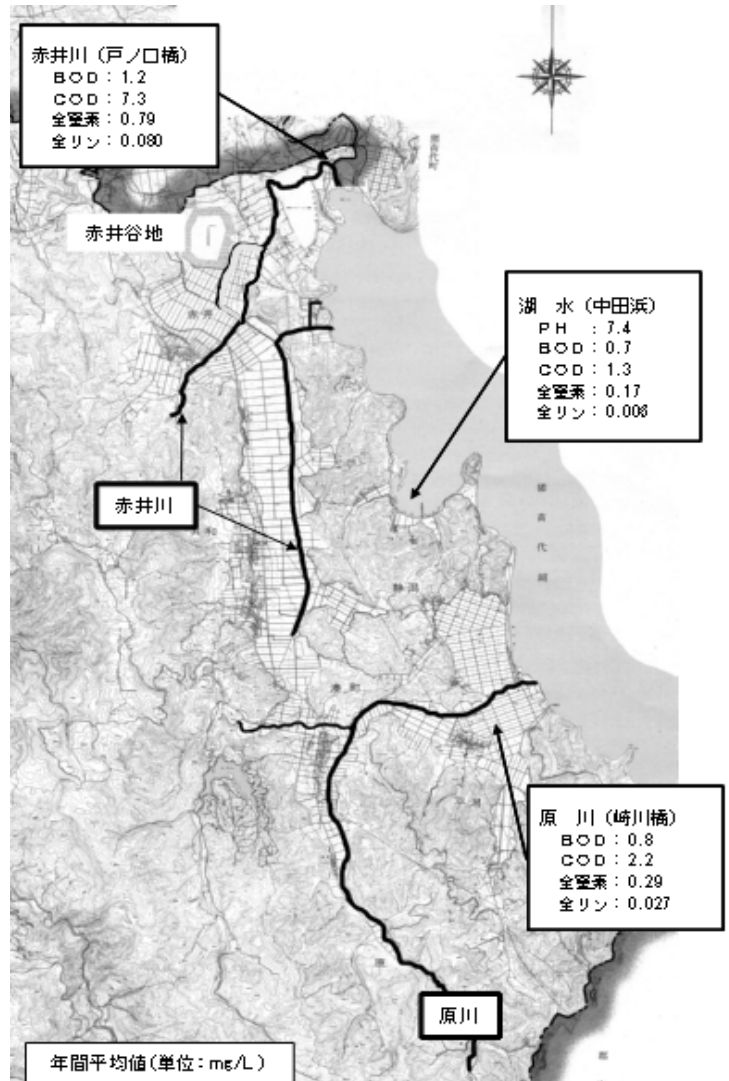
### 2. 公共用水域・猪苗代湖及び流入河川水質調査結果

本市では、市内を流れる河川の水質状況を把握し、今後の水質保全施策等に資することを目的に、主要4河川（湯川、旧湯川、古川、湊川）と猪苗代湖周辺で水質調査を実施しています。調査は毎月1回行い（調査地点により1、2月は除く）、調査項目は国が定める環境基準に準じて実施しています。

本市公共用水域水質調査結果（H29）



猪苗代湖流入河川調査結果（H29）



### 3. 地下水調査結果

昭和50年代以降、有機塩素系化合物（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン等）による地下水汚染が全国規模で問題化したことから、本市では、昭和61年度から延べ105地点の地下水の調査を実施してきました。

平成29年度は、市内の主に融雪に利用されている井戸9ヶ所を対象として平成30年2月に調査を実施しました。調査項目は、主に電子部品の洗浄やドライクリーニングの洗浄剤として使われている有機塩素系化合物であるトリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレンの4物質で、その結果は、下表のとおりです。調査した9ヶ所の内、2ヶ所で1,2-ジクロロエチレンが検出されましたが、環境基準以下でした。

これらの物質は、現在では排出規制が徹底され、事業場等では地下浸透防止のための措置を講じたり、安全性の高い代替物質への転換が図られており、今後、検出される地点も減少するものと考えられています。

地下水水質調査結果（H29）

（単位：mg/L）

調査地点の所在地	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,2-ジクロロエチレン
七日町地内①	検出せず	検出せず	検出せず	0.008
七日町地内②	検出せず	検出せず	検出せず	0.015
地下水の水質環境基準	0.01以下	0.01以下	1以下	0.04以下

※有機塩素系化合物…一般的に炭素と塩素が直接結合した有機化合物のことをいい、水に溶けにくく、油に溶けやすい性質がある。金属・機械部品などの洗浄剤やドライクリーニング用の洗浄剤として使用されている。

### 4. 騒音調査結果

市では、騒音に係る環境基準の達成状況を把握するため、発生源ごとに一般環境、自動車交通、高速自動車道の騒音調査を実施しています。

平成29年度の調査においては、すべての地点において環境基準を達成していました。

環境騒音調査結果（H29）

調査地点	用途地域	地域の類型	調査日	環境基準（dB）		測定値（dB）	
				昼間	夜間	昼間	夜間
堤町	第1種中高層住専	A	10/26～27	55以下	45以下	51.1	32.9
真宮新町南	第1種中高層住専	A	10/17～18			51.1	39.0
河東町広田	第1種中高層住専	A				48.9	39.9
古川町	住居地域	B	10/24～25	60以下	50以下	42.5	33.4
日新町	商業地域	C				47.7	36.2
門田町飯寺	工業地域	C				45.2	39.6

昼間はもちろん、夜間は特に音の出し方に気をつけよう。



自動車交通騒音調査結果（H29）

調査地点	道路名	車線数	用途地域	地域の類型	調査日	環境基準（要請限度）		測定値（dB）	
						昼間	夜間	昼間	夜間
一箕町亀賀郷之原	国道49号	4	準工業地域	C	11/13～14	70 以下 (75)	65 以下 (70)	69.9	64.1
一箕町亀賀村前	国道118号	4	工業地域	C	11/9～10			64.0	57.9
館馬町	国道401号	4	準住居地域	B	11/9～10			65.3	57.8
花春町	主要地方道 会津若松・裏磐梯	4	近隣商業地域	C	11/9～10			62.4	55.0
河東町南高野	主要地方道 会津坂下・河東	2	第1種中高層住居専用地域	A	11/13～14			65.5	63.7
河東町広田	主要地方道 北山・会津若松	2	第1種住居地域	A	11/13～14			68.7	60.6

高速自動車道（磐越道）騒音調査結果（H29）

調査地点	用途地域	路肩からの距離	評価基準（dB）		測定結果（dB）									
			昼間	夜間	H25		H26		H27		H28		H29	
					昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜
インター西地内（定点）	準工業地域	25m	65	60	53	53	53	51	53	51	54	49	54	54
		50m			53	51	53	51	53	50	54	49	55	54
		100m			52	51	52	51	52	50	54	50	54	52

※評価基準とは、福島県高速交通公害対策連絡会議が独自に用途区域に応じて環境基準値からあてはめた数値です。

5. 悪臭調査結果

本市の悪臭防止対策は、「悪臭防止法」、「福島県悪臭防止対策指針」、「会津若松市生活環境の保全等に関する条例」に基づいて行われています。市内の悪臭状況を把握するため、昭和58年以降、悪臭苦情の寄せられた事業所を対象に悪臭調査を実施しています。

平成29年度に調査を実施した2事業所においては、1事業所がわずかに「福島県悪臭防止対策指針」の準拠すべき臭気指数の基準を超過していたため、「会津若松市生活環境の保全等に関する条例」に基づき、改善指導を行いました。

悪臭調査結果（H29）

○：基準超過なし ×：基準値超過あり —：調査未実施

調査事業所		神指町 A事業所	湊町 B事業所	門田町 C事業所	神指町 D事業所
平成29年度	悪臭物質濃度	—	—	—	○
	臭気指数	—	×	—	○



会津若松市 環境PR大使  
いいもりん

Think globally, Act locally  
地球規模で考え、足元から行動を！

## 平成30年度版 『会津若松市の環境』概要版

平成30年11月

発行 会津若松市  
編集 会津若松市 市民部 環境生活課  
〒965-8601 会津若松市東栄町3-46  
電話 0242 (39) 1111 (代表)  
0242 (39) 1221 (直通)

会津若松市ホームページアドレス <https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp>  
会津若松市環境生活課メールアドレス [kankyo@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp](mailto:kankyo@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)